



# 平和資料館 草の家 だより

No.162

2024年3月25日発行



草と草の根の連帯をあらわす  
草の家のシンボルマーク

〒780-0861 高知市升形 9-11 Tel 088-875-1275 Fax 088-821-0586  
E-mail [grh911@dream.jp](mailto:grh911@dream.jp) HP <http://www.maroon.dti.ne.jp/kusanoie/>  
※2月よりアドレスが変わりました

## 宿毛湾港の「特定重要拠点」化に反対する取り組み

宿毛市議会議員 今城 隆

宿毛湾港は四国西南端に位置し、かつては旧海軍の寄港地、特攻基地に利用され、戦後は1986年の重要港湾指定以降、工業流通団地の造成や大型岸壁等の港湾整備が進められてきた。

### 自衛隊誘致の動き

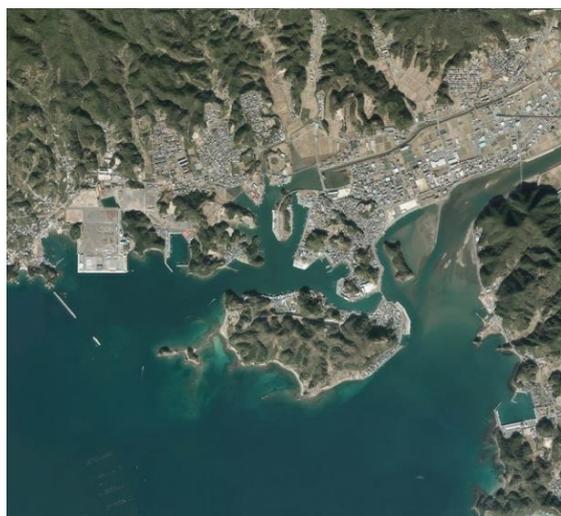
宿毛市議会は2013年、宿毛商工会議所提出の「海上自衛隊潜水艦部隊等誘致」の請願を可決、2018年の「自衛隊誘致の促進に関する決議」を受け、2020年に宿毛市長、市議会議長らが防衛大臣に自衛隊誘致の陳情に行った際、同行の中谷元衆議院議員と中西哲参議院議員が宿毛へのオスプレイ配備を進言していた事が明らかになった。

それを知った市民の怒りが噴出、即座に市民グループが反対署名を集め、市長に約4,500筆、知事宛に1,500筆を提出した。その際、副知事から「県がオスプレイの誘致を進める事はない」との返事をもらい、市民の声を無視した自衛隊誘致の動きに一定ブレーキをかけることができた。私自身、市議会議員として市民と共同し署名活動や議会論戦に関わることの重要性を実感した出来事であった。

### 「特定重要拠点」の意味

昨年10月17日の高知新聞のトップ記事「宿毛湾港防衛利用候補」で、有事を念頭に自衛隊などが平時から民間施設を利用できるよう整備するとあったが、国が今年4月に予算執行しようとするものを、県や市は3月に入っても住民に説明できずにいる。しかし、日米の外交防衛文書から「特定重要拠点」の意味は明らかである。

「特定重要拠点」は①日米が共同利用する。②ミサイル攻撃を呼び込み住民が犠牲になる。③漁業被害、身辺調査など住民生活に困難を生じる。④今沖縄が置かれているような状況になる。少なくともこのような懸念が生じることは、地元住民が十分承知の上で判断しな



宿毛湾港

ければならない。

### 署名の取り組み

私がこのことを、オスプレイ反対署名の代表の方に相談したら2つ返事で「特定重要拠点化に反対する市民の会」を立ち上げていただき、年明けから署名の取り組みが始まった。

早ければ2月に地元合意が迫られると考え、市民全員に懸念点を伝えることを目標に、署名用紙を全戸にポスティングし、上記①～④の懸念と署名協力を訴え街宣カーで回る作戦をとった。開始2週間ほどして、一人で100筆を超える署名を集めるなど、自発的に署名を持ってきてくれる方が増え始めると同時に、私たちと繋がる方々の署名の広がりがあり、約1ヶ月で約1,700筆の反対署名を集め、2月16日に宿毛市長に提出することができた。知事にも近く提出予定である(署名は今後も続ける予定)。

市民グループの署名提出がテレビ・新聞で報道されたことから、県民の感心も高まっており、現在、県内候補地である須崎市・高知市も同じ形の署名の取り組みが進められている。

## すこし武骨な折り鶴は日本のマグロ船とマーシャルとをつないだ

濱田郁夫(太平洋核被災支援センター)

核問題というものは、意外にばらばらに存在している。例えば核兵器と原子力発電所、核実験と広島・長崎の原爆投下など。核被害の側面から見ても、その被害者は意外にばらばらで、「原爆」と「核実験」「原発」の被ばく者もそうだし、国や地域の被ばく者同士でもなんだか距離感がある。このばらばら感は勿論私の実感なのだけれど、意外にそう思っている方は多いのではないと思う。

今年は、ビキニ70年ということもあり原水協が中心になって、高知県からもマーシャルに行こうという企画が持ち上がった。マグロ船の被ばくとマーシャルの被ばくは同じ核実験によるものなのだ。

室戸の元船員さんや遺族の方たちと折り鶴を折ったマーシャルの人たちに届けようというものだ。「どうやって折るのか忘れたなあ」など言いながら、若い方にも手伝ってもらい「いろいろな」折り鶴が出来た。ブラボー実験のさく裂したあの時の真っ赤な巨大な火球から放たれた放射線の下にいて被ばくした船員から、同じくその放射線の下にいたマーシャルの島民に送られる折り鶴だ。



ロンゲラップ島のキャッシーさんと 下本さんが踊り始めました (式典後の昼食会にて)

マーシャルでは現地の方々のはからいでロンゲラップ環礁から移住を余儀なくされている島民であるキャッシーさんとミナさんと交流することができた。彼女たちの話は、家族や親せきにはガンなどの発症、異常出産が多くあったということなど想像を絶するものだった。そして、アメリカは私たちを劣った人間とみているようだ、と語った。私たちは、高知の船員さんたちの被ばくの話をし、彼らとつくった折り鶴のレイを贈った。キャッシーさんたちはとても喜んで下さり、なんと翌日の追悼式典にも首に飾って参加して下さったのだ。

先日、元船員の久保さんを訪ねて、折り鶴を渡してきましたよという報告をした。久保さんは「喜んでくれて良かった。向こうの人らも被ばくしちゅうがやきね。」と笑顔を見せてくれた。一つの、しかし大きなつながりだ。

### 「3.11 を忘れない アクション 2024」

田村和之

2011年3月11日、東北地方太平洋側を大地震と大津波が襲いました。その復興の様子は随時伝えられています。しかし、同日起こった日本原発史上最悪の大事故については、13年経った現在も手が付けられない状態です。燃料デブリは1gも取り出せず、汚染水を垂れ流しています。(政府関係者は「処理水」と言っていますが、本音かどうか、汚染水と言ったある社長は解任させられました。)



私たちはこの状況を少しでも伝えるべく、3月10日(日)、「FUKUSHIMA IS NOT OVER



3.11 を忘れない アクション 2024」と題し、街宣、デモ、キャンドルナイトを行いました。(原発をなくし、自然エネルギーを推進する高知県民連絡会、グリーン市民ネットワーク共催)

当日、14:00に はりまや橋交差点四銀前に集まった私たちは、ボンバー野郎鬼龍さんのオリジナル曲、ビキニ核実験から70年の今年、マーシャルで行われた追悼式典に参加された下本節子さんのスピーチなどに聞き入りました。マーシャルでは、何も知らされず、核実験で空いた海の大穴に放射性ごみを投入する仕事をさせられた男性の話や、生まれてきた子供に異常があった話を聞いたそうです。



オリジナル  
反核ソングを歌う鬼龍さん

地震の起こった14:46に黙祷の後、高知市役所まで、原発廃炉を訴えてデモを行いました。夜は市役所前でキャンドルナイトを行い、廃炉に向けた各々の想いをスピーチしました。昼間の参加者約90人、キャンドルナイトの参加者は約40人でした。小さなお子さんや若い人の参加もありました。

## 「新年会（もちつき）」開催

山本万里子

コロナで中止になっていた新年会（もちつき）が1月28日（日）4年ぶりに開催されました。

子どもが沢山いたら盛り上がるだろうと思い、孫（小学校2年）を誘ったところ、友達にも声掛けしてくれ、小学生3人、保育園児1人とそのお母さんも参加してくれました。他にも子どもさん達の参加も多く約50人の参加で盛り上がりました。

餅つきは初めての体験の子どもさんが多く「3回もついて疲れた」「丸めるのはむずかしい」等と言いながら楽しんでいました。



又、文化行事は、最初に、大病を克服し徐々に復活されている西森良子さんの日本舞踊“美空ひばり”の「人生一路」はさすが美穂川流名取の良子さん、新年会にふさわしい力強い踊りで元気もらいました。

次に、松田さんが代表をされている「ボランティアサークルハート・ワン」（障害を持ちながら懸命に生きている人達のお手伝いをしているボランティアサークル）の3人のハーモニカやギター演奏で「上を向いて歩こう」「花は咲く」「愛は勝つ」等々、最後はみんなで「また逢う日まで」を歌い音楽の素晴らしさを再確認しました。

恒例の会長の「おでん」や遼子さんの手料理、他にも持ち寄り沢山の、みんなお腹一杯、満足!! 満足!! 一人ずつの自己紹介を兼ねた年頭の決意を述べ交流を深めました。

次の日に参加してくれた子ども達に会ったのでお礼を言ったら、「楽しかった。また来年も行きたい」とのことでした。



## 朝倉「陸軍墓地」納骨堂の調査

出原恵三

前回の「たより」で朝倉「陸軍墓地」の草刈りと墓地の紹介をしましたが、草刈り後に「忠霊塔」下の納骨堂内を見学したことがきっかけとなって内部の調査を行うことになりました。納骨堂内は五つの小さな部屋に分かれていて、各部屋は12の棚が上下に配置され約3,000個の遺骨壺

が並べられています。30 数年にわたって納骨堂の管理をされてきた石本健一氏に「正確な数や名簿などがありますか」と尋ねると「全くない」とのことでした。

墓地そのものは、2006 年に高知大学によって詳細な調査が行われ報告書も出ていますが、納骨堂内部については実施されていません。調査に携わられた小幡尚先生も納骨堂にどのような経過で骨壺が収納されたのかについては不明とのことでした。納骨堂内部の現状は 1946 年 12 月に高知を襲った南海地震の後、再整理（何時行われたかは不明）され、その後も手が加えられているものと考えられます。戦争直後の状況を留めているものではありませんが、遺骨壺一つ一つを調査することによって戦没者がどのように葬られたのか、また戦後社会が、戦争とどう向き合ってきたのかということの一端に触れることができるのではないかとの思いから調査会を結成し調査を開始しました。

石本さんに調査会代表になって頂き、調査は「草の家」の考古、文献、建築の専門スタッフを中心に進め、高知大学の小幡先生、宮里修先生を顧問にお願いしました。2月2日に第1回の調査を行い、これまで3回実施してきました。現在250個の遺骨骨壺を調査しましたが、氏名や戦没時期が判読できるものは3分の1以下です。内部に遺骨のあるものは殆どありません。よく「石ころが入っていた」などと言われますが、そのような例は今のところ見られません。一番多いのは名刺大の写真です。中には肖像画も見られます。写真裏面に氏名、没年を書いている例があり個人を特定できます。これまでのところ戦没時期では「昭和十九年六月二十九日歿」が多くを占めています。これは沖縄に向かっていた「富山丸」の犠牲者である可能性が高いのではと思います。一例ですが軍から市町村を經由して遺族に出されたと考えられる「合葬」に関わる文書の入っているものがあります。当時の「陸軍墓地規則」からは追えない事例です。

調査は始まったばかりで、全体像は全く掴めていません。着地点も見えていませんが、根気よく記録をとっていこうと思っています。全国にはこのような「忠霊塔」や「忠魂碑」が1万数千ヶ所に残っていますが、その中には雑草に覆われ朽ち果てようとしているものも少なくありません。戦後も「英霊」として持ち上げられ戦争の本質を隠蔽し戦争責任を回避するために使われてきましたが、ここに来て「忘却、廃棄」されようとしています。そして新たな戦争準備が始まりました。まさに二度殺されようとしています。二度と戦争をさせないためには戦争犠牲者を忘れることなく歴史の中に正しく位置づけることが必要です。



## 彼岸花、座布団にも「赤紙」

草の家研究員 馴田 正満

戦前の高知新聞の整理をしているが、思わず笑ってしまい、やがて空恐ろしくなる記事に出くわす。その一つが彼岸花、座布団への「赤紙」(臨時召集令状)である。以下紹介する。(引用にあたり当用漢字に直し句読点を補った。【 】は筆者によるもの)

まずは1943(昭和18)年1月19日朝刊。見出しは「彼岸花に赤紙/集荷運動活況を呈す」。本文は「お山に群生する彼岸花にも非常時のお役に立つ時が来た。粘着力の強い糊となし、また澱粉採取用として各方面から着目される彼岸花の球根は、いよいよ真価が認められた訳で、高知市に近い土佐郡鏡、土佐山の各村には彼岸花が無尽蔵といはれ、これらの村では村農会や産業組合が主体となつて集荷運動に当り毎日相当量の集荷が行われている。今まで花を見るよりほかに何等顧みることのなかつた路傍の彼岸花景気に山村を賑はせている」

記事には鏡村農会に集荷された彼岸花の球根を詰めた俵の写真も添えられている。

次は敗戦の年(1945年)の1月18日朝刊。見出しは「座布団にも晴の赤紙/火薬の原料 県が急速に回収運動」。本文は「激動する前線へ弾丸を補給するため火薬原料として座布団も勇躍応召する一戦局の鮮烈な展開に伴つて米鬼、英醜を倒す弾丸がいくらあつても足りないの、この無限に拡大される補給を満たすため火薬原料たる棉花の需要も厖大に達するに至つたので、現下の棉花事情に即応して県では政府の方針に呼応して棉花確保のため急速に一般から座布団を回収することとなり、直接前線の決戦場に繋がる弾丸資材たる座布団の供出に県民の奮起をのぞんでゐる。

座布団の回収は戦局の急迫と共に大いに急を要するので直に回収に取りかかり二月末日までに完了する方針で、この際県民は前線の筆舌に尽されぬ労苦を偲び、たとへ座布団なしでもこの苛烈な戦局を切り抜けるため少々ぐらゐの不自由はこれを忍んで国家の要請に応へ、座布団廃止の提唱に応じて回収目標達成に進んで協力するやう熱烈な協力が要請されるわけで、一般家庭はもとより料理屋、飲食店、貸座敷、劇場、旅館(休業中のものも含む)等あらゆる方面から供出を求め回収には県の指定する資源回収統制組合に於て即金買上を行ひ軍部へ納入することとなつてゐる。



更に回収価格は一貫目【3.75 kg】十円とし、翼賛会【大政翼賛会】、翼壮【大日本翼賛壮年団】、日婦【大日本婦人会】および各業者組合その他の協力によつて、場合により市町村吏員或は町内会長、部落会長、日婦幹部等が戸別訪問によつて一般の熱意を促すはずで、現品は原則として町内会、部落会等に取りまとめ一括売却の斡旋をなす事となつてゐる。なほ供出の対象は座布団であるが布団綿でもよく、側【綿を覆う布地】は供出者が取除き綿のみ供出することになつている。

以上が全文である。最初に感じたのは、資源不足を補うためにこんなことまでしたのか、記者が真面目にこんな記事を書いたのか、という滑稽さだった。しかし、よくよく考えると当時「赤紙」は絶対的なものでこれを受け取ると

兵役を拒否することはほぼ不可能だった。紙面に「赤紙」という文字を出すことにより天皇陛下の命に等しい効果を生んだと思われる。しかも、「回収目標」があり、家々の家族数や台所事情まで知りつくした町内会長や婦人会の幹部が戸別訪問をして、座布団を供出するよう「熱意を促す」のである。何と恐ろしい監視・強制の社会か。それが当時の庶民の生活だった。

## 2024年度 総会

6月1日(土) 午後2時 平和資料館 草の家にて

草の家は民立民営です。会員みなさんと活発な意見交流ができればと思いますので、どうぞ積極的にご参加ください。2023年度の活動報告、収支決算報告、2024年度の活動方針、予算、役員改選の提案などを行います。よろしくお願いたします。総会后、交流会も開きます。



三上智恵監督最新作映画

### 「戦雲」(いくさふむ)高知県内での上映準備始まる

ドキュメンタリー映画「戦雲」(いくさふむ)は、三上監督が沖縄・南西諸島をめぐる取材を続けてきた渾身の最新レポートです。

映画が映し出すのは、迫り来る戦争の脅威だけではない。過酷な歴史と、豊かな自然に育まれた



た人々の暮らしや祭りなどが、まやかしの「抑止力」の名のもとで蹂躪されようとしている姿を明らかにします。実はこの姿は沖縄ごとではなく、今高知県も国の言いなりに宿毛湾港、須崎港、高知港を「特定利用港湾」に指定しようとしています。この動きは、新安保三文書の閣議決定にそった「戦争準備」で、いつでも軍港として利用することができることを狙ったものです。

映画「戦雲」を県下各地で自主上映運動に取り組み、郷土の軍事化に反対する運動の力にしていきましょう。

連絡先：平和資料館・草の家

### ★★7月7日(日)映画「戦雲」上映を決定★★

上映会場：自由民権記念館

詳しくは草の家にお問合せ下さい。

## 草の家日誌 2024年1月～3月

### 1月

- 1/4(木)「民権風揚げ」大会 14:00 トリム公園 (岡村)
- 1/6(土)「陸軍墓地納骨堂」現地見学と打ち合せ 10:00～14:00 (石本 大原 出原 松村 横山 吉成)
- 1/11(木)「市民の会」13:30～15:30 高知城ホール (出原)
- 1/15(月) 元イスラエル軍兵士 ダニー・ネフセタイ夫妻来館 (田辺さん案内)  
「市民の会」高知市と交渉 午後 (出原)
- 1/19(金)「安保法案を廃止させる19日行動」18時 田村 約25人
- 1/19(金)「陸軍墓地納骨堂調査」打ち合わせ 13:30～14:30 (大原 出原 松村 横山 吉成)
- 1/20(土)「原水禁・原水協 核兵器禁止条約発効3周年県民の集い」高知市公民館 80人
- 1/21(日) 自由民権150年記念企画第一弾「いまの政治に土佐から吠える」民権ホール 13:30 230人
- 1/23(火)「無天忌」10:00 小高坂市民会館集合、清掃後に公文豪さんによる周辺の民権史跡案内 25人
- 1/24(水)「秋水忌」中村の墓地前 12:00

### 2月

- 2/2(金) 陸軍墓地納骨堂調査開始 (大原 出原 西村 松村 吉成 横山 他、8人)
- 2/5(月) 植村 隆 (週刊金曜日代表取締役)・往住嘉文 (北星大学非常勤講師) 来館  
「従軍慰安婦中曽根資料」発掘について取材 15:30 (館長 出原 馴田 西森)
- 2/5(月)「平和と生活を考える高知市民の会」例会 13:30 高知城ホール (出原)
- 2/9(金) 2/22「2024ピースウェイブ in こうち」実行委員会 案内送付
- 2/10(土)「陸自幹部の靖国・宮古神社の集団参拝に抗議する」宗教者・市民共同声明に賛同 FAX
- 2/11(土) 日本母親大会四国ブロック集会「ウクライナ戦争と日本の軍拡」(岡村啓佐) 高知城ホール 60人  
『建国記念の日』に反対し日本の今と未来を考える集い 120人 かるぼーと
- 2/14(水) やなせたかし(朝ドラ「あんぱん」)の取材でNHK総局3名、観光コンベンション3名来館 9:00 (出原 西森)
- 2/15(木) 高知ペンクラブ「高知県における朝鮮人労働者について」 馴田正満 講演 30人
- 2/16(金) 第2回陸軍墓地納骨堂調査(大原 出原 西村 松村 吉成 横山 他、9人)
- 2/19(月)「安保法を廃止させる19日行動」中央公園北口 25人 (田村、出原)

### 3月

- 3/1(金) 第3回陸軍墓地納骨堂調査
- 2/29・3/1(木・金) 3. 1 ビキニ集会(静岡市)で報告 (岡村啓佐)
- 3/4(月) 第46回戦争と平和を考える資料展 実行委員会  
「平和と生活を考える高知市民の会」例会 13:30 高知城ホール (出原)
- 3/10(日)「3・11」集会 14時: 四銀本店前 90人→ 14:46 黙祷後、デモ→ 18:30 市役所前でキャンドルナイト  
40人 (田村、出原)
- 3/17(日)「第27回戦争遺跡保存全国シンポジウムやはた大会」現地実行委員会 (出原)
- 3/19(火)「安保法を廃止させる19日行動」中央公園北口 70人 (田村、西森)

## 《お知らせ》

### 第4回 横村浩 碑前祭

日時: 6月1日 午前11時～  
場所: 城西公園 碑前

